

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月26日作成)

小委員会名	集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会	主査名：濱田幸雄 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主査名：池上雅之
設置期間	2023年4月 ～ 2027年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	室内暗騒音、および居住者の属性（音響要因および非音響要因）が集合住宅の遮音性能評価に及ぼす度合いの定量的表現の提案を目指す。 初年度：個人属性と居住環境及び遮音性能の関係に関するアンケートの実施。 2年度：暗騒音が遮音性能評価に及ぼす影響に関する聴感実験結果の検証。 個人属性と居住環境及び遮音性能の関係に関するアンケートの解析。 3年度：暗騒音および個人属性が集合住宅の遮音性能評価に及ぼす影響度合いの定量化手法の検討 4年度：研究成果のまとめと公表	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無 主査：濱田幸雄(日本大学工) 幹事：須賀昌昭(住宅リフォーム・紛争処理支援センター) 委員：植村友昭(鴻池組), 大内孝子(建設環境研究所), 大脇雅直(熊谷組), 古賀貴士(鹿島建設), 浜田由記子(大成建設), 松田實(BL建設), 向井達郎(OTO技術研究所)	
設置WG (WG名:目的)		
2023年度予算	30,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 個人属性と居住環境及び遮音性能の関係に関するアンケートのための予備調査を実施した。 2. 予備調査に基づき、大学生を対象にアンケートを実施、結果の分析を行い、小委員会において結果について検討を行った。
委員会活動の問題点・課題	特になし

*表中の赤字「(設置目的) (書名) (名称) (資料名)」は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

- *小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- *中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	(B)	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ol style="list-style-type: none"> 1) <u>遮音設計のための鉄道騒音の測定方法に関する検討</u> 昨年度の活動を通して、列車の通過本数が室内発生音のうるささの評価に影響することが分かったので、夜間の列車通過本数が数本といった場合の負荷騒音としての鉄道騒音の測定法についての検討を進める。 2) <u>個人属性と音環境との関係に関するアンケート調査の実施</u> 個人属性と居住環境の関係に関するアンケートの分析結果より、個人の音に関する関心の高さ、低さが遮音性能評価に及ぼす影響が示唆されたので、影響の度合いを定量的に表記する方法を検討する。 			

- 総合評価は4段階 (A>B>C>D) にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。